



わたしは、子牛のセリ市場というところに連れて行かれました。
わたしと同じような子牛がたくさんいます。たくさんの知らない
人たちがわたしの体をたしかめ、農家のお父さんとなにやら話を
しています。

その間、農家のお母さんは、わたしのそばにずっといてくれました。
わたしのからだをずっとさすって、涙を流していました。

(中西未奈・須濱初音・池村 梢)